

1. 昔ある工場に出向いた折、植栽されたばかりの機会に出会い、工場長から2メートル大の白花と赤花を購入した話を聞いたことがある。前者が10万円に対し、後者は3倍の30万だったとのこと。現在の相場は知らないが、そんなにも差があるものかと思った記憶がある。
2. 記憶ついでに言えば、私が最初にハナミズキに出会ったのは30年ほど前のことであった。富山県のあるゴルフ場でコースをセパレートするように植えられていたのがハナミズキだった。同伴者の話では、「あれは北米原産でハナミズキという樹木だ」と教わった。鮮やかなピンク系の色が北陸の青空に映えて美しかったので、とても印象に残った。
3. 後で知ったことであるが、明治時代にワシントンに送られたソメイヨシノの苗の返礼としてアメリカから日本に送られたものが定着した、日米親善の樹木だということができるようである。
4. 公園や庭木、街路樹でもみられ、紅白が順番に植えられているところが多いように思われる。花も、実も、紅葉も美しいので、人気が高い樹木ということができそうである。
5. 赤や白の花びらに見えるのは総苞片であって花びらではない。花の集まりを取り巻く葉が変形したものであって、4片からなり、その先端は丸くなっている。
6. 花期は4-5月、果期は10-12月 落葉小高木
7. 実は10個ほどの実が集まって赤く熟すのでよく目立つ複合果と呼ばれる。
8. つやつやしておいしそうに見えるが、食用にはならず苦いものらしい。
9. ツグミやヒヨドリなどの鳥が丸呑みしてタネが運ばれる。
10. 葉も花もヤマボウシ(ミズキ科)に似ているが、実は全く異なっている。
11. 別名では、アメリカヤマボウシと呼ばれるのはゆえあつてのことである。



中心部が花が集まる



紅葉も美しい



楕円形の実が集まってつく